



2022年7月1日
株式会社 阿波銀行

一般社団法人にし阿波 BCP サービスの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、一般社団法人にし阿波 BCP サービス（理事 高瀬 裕紹、本社：徳島県三好郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	一般社団法人にし阿波 BCP サービス
所在地	徳島県三好郡東みよし町加茂 3013 番地 1
代表者	高瀬 裕紹
業種	コンサルティング業
設立	2019年10月10日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月1日



一般社団法人にし阿波BCPサービス 代表 高瀬 裕紹

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	①安全に住み続けられる古民家の有効活用の提案、移住サポート	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任
			②年1件以上の移住案件に関与	11 住み続けられるまちづくりを	
環境・社会・経済	法令情報管理の徹底	業務に関わる新規法令の適用や法令の改正について、常に情報収集に努め、法令順守を徹底します。	①元食品衛生監視員、元保健所職員の経歴活かした法令情報の普及活動（コロナ対策、食品衛生分野）	3 すべての人に健康と福祉を	17 パートナリシップで目標を達成しよう
			②自治体や企業、地域住民への講習月3件以上実施	4 質の高い教育をみんなに	
社会・経済	地域の衛生管理の向上	感染症に強いまちづくりのため、地域イベントのサポートを行い、安全で持続可能な地域の発展に貢献します。	①感染症対策講習会の実施	3 すべての人に健康と福祉を	
			②年30件以上実施	11 住み続けられるまちづくりを	
環境・社会・経済	社会課題解決に資する商品・サービス開発	SDGsのターゲットやゴールと自社事業のつながりに関して理解を深め、今後SDGsに貢献する製品・サービスの開発に取り組みます。	①SDGs推進企業と連携・パートナーシップを構築しSDGsの普及活動を実施	4 質の高い教育をみんなに	
			②年10社以上へ実施	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。